試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません

令和８年度佐賀県クリーニング師試験問題

３　洗たく物の処理に関する知識

【注　意　事　項】

１　解答用紙に、「受験番号」と「氏名」を忘れずに記入してください。

２　机の上には受験票と筆記用具のみを置いてください。

３　携帯電話は、必ず電源を切るかマナーモードにし、机の上には置かないでください。

４　解答は、答案用紙にＨＢ又はＢの鉛筆（ｼｬｰﾌﾟﾍﾟﾝｼﾙ）で記入してください。

５　１つの問題には、複数の選択肢があります。１つを選び解答してください。

６　試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。

７　試験中にトイレ、体の不調、筆記用具の落下など試験担当者に用事がある場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。

８　試験問題については、各自持ち帰ってください。

令和８度　クリーニング師試験

（佐賀県）

試　験　問　題

【洗たく物の処理に関する知識】

問１　次の（１）～（５）の記述は、どの繊維について説明したものか。次のページの語群から１つ選び、そのアルファベットを解答欄に記入しなさい。

（１）最もウールに似た合成繊維で、暖かな肌触りが特徴である。ニット肌着や、スポーツウェア、セーター等に用いられているが、クリーニング処理によって伸びやすいので、注意が必要である。

（２）美しい艶としなやかで暖かな感触をもっており、糸が細いため、薄手の織物が比較的多い。機械的な強い操作を加えることは禁物である。アルカリに弱く、塩素系漂白剤には耐えられない。

（３）再生繊維の一種で、しなやかでさらっとした肌ざわりがあり、ブラウスやワンピース等に使用されている。水処理によって収縮したり、風合が著しく低下することがあるので注意が必要である。

（４）シワになりにくい、折り目が消えにくい、早く乾く、耐熱性にも優れていて丈夫であるという特性により、広範囲な商品に使われている。合成繊維の中で、国内最大生産量を誇っている。

（５）丈夫で肌ざわりが良く、耐洗濯性が良いが、縮みやすく、シワになりやすい性質をもつ天然繊維の一種である。防縮加工（サンフォライズ加工）や樹脂加工を施すことにより、これらの短所を補う工夫が行われている。

（佐賀県）

【語群】

A. 麻	B. 綿	C. 絹	D. キュプラ
E. アクリル	F. アセテート	G. ナイロン	H. ポリエステル
Ⅰ. ポリウレタン	J. レーヨン		

（佐賀県）

問２　洗たく物の処理に関する次の問いに答えなさい。

（１）汚れの種類に関する記述として、誤っているものはどれか。Ａ～Ｃの中から選び、解答欄に記入しなさい。

Ａ．　水溶性汚れ：汗、尿、果汁、墨汁、でんぷん
Ｂ．　油性汚れ：油脂、皮脂、機械油、化粧品、ペンキ
Ｃ．　不溶性汚れ：泥、粘土、セメント、金属粉、カビ

（２）しみ抜きの処理の基本的な手順に関する記述として、正しいものはどれか。Ａ～Ｃの中から選び、解答欄に記入しなさい。

Ａ．　①水溶性のしみ　→　②油性のしみ　　→　③不溶性のしみ
Ｂ．　①不溶性のしみ　→　②油性のしみ　　→　③水溶性のしみ
Ｃ．　①油性のしみ　　→　②水溶性のしみ　→　③不溶性のしみ

（３）ランドリーに関する記述として、誤っているものはどれか。Ａ～Ｃの中から選び、解答欄に記入しなさい。

Ａ．　ランドリーとは石けんや洗剤を用いて洗濯機で洗う方法で、洗浄作用は低い。
Ｂ．　ランドリーは水洗いすると色の出る品物や形が崩れたり縮みやすい品物を洗うのに適さない。
Ｃ．　予洗には、アルカリ剤（メタ珪酸ナトリウム）を用い、水量は本洗いより多めで、温度は４０℃以下にする。

（佐賀県）

（４）ランドリーの洗濯処理において、染色物を洗濯する場合の注意事項に関する記述として誤っているものはどれか。Ａ～Ｃの中から選び、解答欄に記入しなさい。

Ａ．漂白は行わない
Ｂ．温度を抑制する
Ｃ．水量を少なくして移染を防ぐ

（５）漂白剤として用いられる過炭酸ナトリウムに関する記述として正しいものはどれか。Ａ～Ｃの中から選び、解答欄に記入しなさい。

Ａ．低温で漂白効果がある。
Ｂ．４０℃以上から顕著な漂白効果を発揮しはじめ、８０℃程度まで使用できる。
Ｃ．塩素系漂白剤である。

令和８度　クリーニング師試験

（佐賀県）

問３　クリーニングに関する以下の記述のうち、正しいものには〇印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

（１）　クリーニングの仕上げに必要な条件は、洗濯物に応じた最適の湿気、熱、圧力の３つで、これを「仕上げの３条件」という。

（２）　ドライ仕上げの最適な蒸気圧は０．７Ｍｐａである。

（３）　ウエットクリーニングは、水溶性及び油性汚れを除去するのに優れている。

（４）　皮革は、染色堅ろう度が強く、クリーニングで脱色することはほとんどない。

（５）　和服のクリーニングについては、一般衣料のドライクリーニングと同じ方法で処理してよい。

（佐賀県）

問４　ドライクリーニングで使用する溶剤や機械の危険性及び安全管理に関する以下の記述のうち、正しいものを（　　）のＡまたはＢから選び、解答欄に記入しなさい。

（１）石油系溶剤は引火点が（Ａ　３０℃、Ｂ　４０℃　）以上のものを使用する。

（２）テトラクロロエチレンは特別有機溶剤であり、作業環境測定士による作業環境測定を（Ａ　６か月、Ｂ　１年　）以内ごとに１回行い、その結果の評価により作業環境を改善しなければならない。

（３）作業環境測定の記録とその評価の記録は
（Ａ　１０年間、Ｂ　３０年間　）保存しなければならない。

（４）石油系溶剤でドライクリーニングしたときに、
（Ａ 洗浄、Ｂ 乾燥　）が不十分であると、その衣料品を着用した場合に、皮膚障害（化学やけど）を発生する危険性がある。

（５）充分に乾燥した洗濯物を、高温度のまま積み重ねておくと、繊維の特性として蓄熱現象と自己酸化作用を有する場合には
（Ａ　５～６時間、Ｂ　１０～１５時間　）後に自然発火し、火災事故につながることがあるため、乾燥を終了した洗濯物は速やかに取り出して温度を下げるようにすることが必要である。

令和８度　クリーニング師試験

（佐賀県）

問５　次のＪＩＳ　Ｌ　０００１：２０２４による洗濯処理のための表示記号の意味について、正しいものをＡ～Ｃから選び、解答欄に記入しなさい。

（１）



Ａ．液温は３０℃を限度とし、弱い手洗いがよい。洗濯機は使用できない。
Ｂ．液温は３０℃を限度とし、手洗いができる。
Ｃ．液温は４０℃を限度とし、手洗いができる。

（２）



Ａ．塩素系及び酸素系の漂白剤を使用して漂白ができる。
Ｂ．酸素系漂白剤の使用はできるが、塩素系漂白剤は使用禁止。
Ｃ．塩素系漂白剤の使用はできるが、酸素系漂白剤は使用禁止。

（佐賀県）

（３）



Ａ．タンブル乾燥ができる。排気温度上限８０℃。
Ｂ．タンブル乾燥ができる。排気温度上限７０℃。
Ｃ．タンブル乾燥ができる。排気温度上限６０℃。

（４）



Ａ．底面温度１６０℃を限度としてアイロン仕上げができる。
Ｂ．底面温度１２０℃を限度として、スチームなしでアイロン仕上げができる。
Ｃ．アイロンは１２０℃を限度とし、低い温度（８０℃～１２０℃）でかけるのがよい。

（５）



Ａ．洗濯処理禁止。
Ｂ．ドライクリーニング禁止。
Ｃ．ウエットクリーニング禁止。

令和８年度　クリーニング師試験

（佐賀県）

解　答　用　紙

【洗濯物の処理に関する知識】

受験番号	氏　　名

問１（４点×５＝２０点）

（1）	（2）	（3）	（4）	（5）
E	C	J	H	B

問２（４点×５＝２０点）

（1）	（2）	（3）	（4）	（5）
A	C	A	C	B

問３（４点×５＝２０点）

（1）	（2）	（3）	（4）	（5）
○	×	×	×	○

問４（４点×５＝２０点）

（1）	（2）	（3）	（4）	（5）
B	A	B	B	A

問５（４点×５＝２０点）

（1）	（2）	（3）	（4）	（5）
C	B	A	A	B